

ボランティアの普及啓発 × 市民活動の支援および協働の推進

全国ボランティアコーディネーター研究集会2015 in 大阪

実行委員会に参画

全国ボランティアコーディネーター研究集会は、ボランティアコーディネーションに携わる人々が、分野を問わず全国から一堂に会す、年に一度の研究集会です。当サークルは、二〇一五年二月二十八日・三月一日に開催された全国ボランティアコーディネーション研究集会2015 in 大阪の実行委員会に参画しました。

担当は、分科会『なぜボランティアが「人手」として使われるのか?』中間支援団体・ボランティア受け入れ団体に必要とされること』の企画運営。



オープニング全体会の様子（2015年3月1日ドーンセンターにて）

この分科会は、ワークショップ形式で、①ボランティアが「人手」として使われてしまう原因や背景、②原因から考えられる課題、③課題解決のために必要とされる実践的な取り組みについて、中間支援団体・ボランティア受け入れ団体双方の視点から考えるという内容です。「ボランティアを人手として扱われる」ということに問題意識を感じている中間支援団体のコーディネーターや、受入団体スタッフなどと共に、議論を深めました。

また、この研究集会全体の報告書編集も担当し、七六頁の報告書冊子を作成しました。



NPO関連予算情報

奈良へ発信

奈良県内で活動するNPOや市民活動関係者、自治体の担当職員等を対象に、各庁から出されるNPO関連予算情報の共有を兼ねた交流会を、当サークルが加盟している「奈良県中間支援NPO連絡会議」の主催で、三月四日に開催しました。

当日は、NPO関係者、ソーシャルビジネス事業者、地域おこし協

奈良市ボランティアポイント制度

ボランティア養成講座×ならボラ

二〇一五年一月より導入された奈良市ボランティアポイント制度。この制度は、奈良市が主催するボランティアに関するプログラムに参加すると活動内容に応じてポイントが付与され、地域の特産品や奈良交通バスのチャージ、市が指定する加盟店での割引サービスなどに交換でき、市民がボランティアに関わるきっかけづくりになることが期待されています。

力隊員、大学生、自治体職員など多様なセクターからの参加がありました。

この予算情報は、同二月二五日に東京民主党本部にて開催されたNPO関連予算説明会へ当サークルスタッフが参加して入手したものです。東京の最先端の情報を奈良でいち早く発信することができました。



二〇一五年一月二四日に開催された同制度説明会兼ボランティア入門講座では、事例発表者として当サークルが登壇。ならボラでの活動を例に、ボランティアに参加する意義について発表しました。

この養成講座をきっかけに、数人の受講者が、お手紙作成ボランティアやキャラクター折り紙ボランティアへの参加につながりました。

樫原市主催NPO向け支援講座

NPOの作り方講座開講

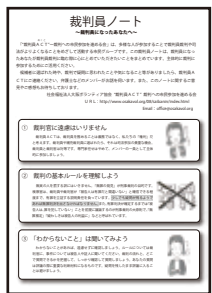
二〇一四年八月より二〇一五年一月にかけて、樫原市市民協働課主催でボランティア・NPO向け支援講座が実施されました。その内容は、NPOの基本概念を学ぶ内容から、実務に直結する内容のものまで全四回。その内の、NPOの基本的な概要を学ぶ入門講座（二〇一四年八月二五日実施）および、実際にNPO法人の設立を目指している人を対象としたNPP法人設立ワークショップ（二〇一五年一月二五日実施）を当サークルスタッフ磯野奈緒が講師として登壇しました。

裁判員ACTは、社会福祉法人大阪ボランティア協会事業として二〇〇九年以来、市民の視点からの学習や実情の検証、政策提言等の活動が続けています。裁判員経験者や元候補者、検察審査員経験者、司法関係者、弁護士、NPOメンバーや記者らによる市民ボランティアで構成されています。

当サークル磯野代表理事に交代し、新体制でのスタートとなりました。裁判員ACTの主な活動は、裁判員制度に関する学習会や同制度に関わ

裁判員ACT 裁判への市民参加を進める会

また、裁判員に選ばれた人が主体的に裁判に参加出来るように裁判員制度や裁判についての要点などをまとめた「裁判員ノート」を大阪ボラン



(<http://osakavol.org/08/saiban/index.html>)

役員・スタッフ紹介

【代表理事】 磯野 太郎 (いその たろう)

Q: 普段は、何をしています?

放課後等デイサービスの管理者

Q: どんな社会にしていきたい?

水平線を目指す社会。

【理事】 川畑 恵子 (かわはた けいこ)

Q: 普段は、何をしています?

フリーランス(編集やライティングなど)

Q: どんな社会にしていきたい?

性別や年齢、職業、家族の形等々、違いがあっても一人ひとりが大切にされる社会になれば。仕事の時間は3分の2にして、家庭や地域や社会的な活動にふりむける時間が増えて、違う立場の人とコミュニケーションできる機会や環境が増えていけば...

【理事】 野崎 厚子 (のざき あつこ)

Q: 普段は、何をしています?

学童指導員

Q: どんな社会にしていきたい?

ほんとうの自分を出せる場所で、みんながつながれる社会。

【監事】 辻本 琴江 (つじもと ことえ)

Q: 普段は、何をしています?

福祉関係

Q: どんな社会にしていきたい?

趣味は何?と聞かれて、「ボランティア」と答えられる人がいっぱい増える社会にしたい☆

【事務局】 磯野 奈緒 (いその なお)

Q: 普段は、何をしています?

NPO団体の事務局支援

Q: どんな社会にしていきたい?

「家庭や仕事以外の自分の居場所『Third place(第3の居場所)』がスタバだけでなく、「市民活動やボランティアの現場です!」という若者を増やしたい!



ならボラの
マスコットキャラ
名前募集中!



NPO法人化へ向けた設立総会の様子
(2014年11月29日奈良市ボランティアインフォメーションセンターにて)

2015年4月 NPO法人化

えん新聞

発行 NPO法人市民活動サークルえん広報部
発行人 磯野 太郎
連絡先 奈良市三条松町13-10-105
E-mail en@circle-en.info
U R L http://circle-en.info/
発行日 毎年5月1日発行

NPO 法人設立に至るまでのあゆみ

- 2010年7月 任意団体市民活動サークルえん設立
- 2010年7月～現在 (社福)大阪ボランティア協会事業への協力
あまボプロジェクト開始
ならボプロジェクト開始
NPO運営相談および事務サポートの実施
- 2013年10月 NPOパネル展&見本市(奈良市)への出席
- 2014年4月1日～2015年3月31日 全国ボランティアコーディネーター研究集会
2015in大阪実行委員参画
(開催日:2015年2月28日・3月1日)
- 2014年8月 橿原市ボランティア養成講座登壇
- 2014年9月 生駒プロボノマラソンへのワーカー参加
- 2014年11月29日 NPO法人市民活動サークルえん設立総会開催
- 2015年1月 橿原市NPO支援講座登壇
奈良市ボランティア養成講座登壇
- 2015年2月 茨木市太田公民館クラフト講座登壇
- 2015年1月～現在 奈良県中間支援NPO連絡会議参画
- 2015年3月 NPO関連予算情報共有会&市民活動大交流会
開催協力
- 2015年3月18日 NPO法人奈良県認証取得
- 2015年4月1日 NPO法人市民活動サークルえん登記完了

法人格取得後の事業展開について

- ①ボランティアの普及啓発
多彩なボランティア体験プログラムを企画・運営し、ボランティア活動の魅力を発信します。
- ②市民活動の支援および協働の推進
NPOや市民活動団体をサポートします。
- ③生涯学習および人材育成の推進
NPOやボランティアに関する講座の企画・運営や、講師を派遣します。
- ④地域活性化のための支援
地域の魅力を新発見するツアーの企画・運営や、魅力を発信するお手伝いをします。
- ⑤相互交流およびネットワーク形成
様々な職種や年齢の方々が出逢える場づくりをおこないます。
- ⑥障がい者(児)支援
放課後等デイサービスを今後開設予定です。
(開設時期未定)



写真(上)お手紙作成ボランティア
写真(下)農作業ボランティア

二〇一〇年より任意団体としてNPO支援やボランティア啓発を中心に活動してきましたが、事業拡大に向けた法人格取得のため、二〇一四年一月、寝屋川市および奈良市内にて設立総会を開催し、二〇一五年三月一八日に奈良県よりNPO法人の認証を受け、同四月一日付で登記を完了しました。

子どもからシニアまで、ハンディキャップのあるなしに関わらず、地域社会とのつながりの場や機会の提供をおこない、誰もが生き生きと暮らせる社会の実現に寄与する事を目的とし、今後新たに障害者(児)支援の分野にも携わっていく予定です。

ボランティアを より身近なものに

学生や勤労者を対象に、休日の新しい楽しみ方として、奈良県内で活動できるボランティアアプログラムを体験できる「ならボラ」、趣味や特技を活かしたボランティア「あまボノ」を通じて、若者にボランティアをより身近なものとして感じてもらえるような機会を提供しています。

「ならボラ」は、二〇一〇年からスタートし、二〇一五年三月三十一日現在、プログラム数は不定期開催を含め八種類。これまでの参加者数は、のべ一五〇人。大半がボランティア活動に参加するのが初めてという人で占めています。が、リピート率は二四%と好調な結果を残しています。

参加者の年齢層は主に二〇代、三〇代が中心で、同世代で交流をしながらボランティア活動に参加できるという点と、Facebookを通じて活動後も交流が出来るという点が、今時の若者のスタイルにハマったのではないかと考えます。

「あまボノ」では、NPO団体のニーズとして非常に高いチラシデザインボランティアを中心に募集をおこない、二〇一五年三月三十一日現在での登録者数は四名。内、すべてマッチングが完了しています。今後は新たに写真撮影ボランティアの枠も設け、活動内容にバリエーションをもたせていきます。

メディア掲載実績



うぶすな 2013年10月号



広報かしはら 2014年11月号

NPO 法人設立や管理運営に関する各種相談受付中

- ◎NPO 法人設立の条件について
- ◎NPO 法人設立手続きに必要な書類について
- ◎毎年必要な諸手続きについて
- ◎広報について
- などなど。お気軽にご相談下さい。

NPO 法人市民活動サークルえん事務局
en@circle-en.info